

課題

○小学校から中学校に進むに従い、読書離れが顕著になっており、小学生期の読書習慣の定着が課題

○本県は図書館設置率が全国平均より低く、読書環境の面においてこどもが読書活動を行う上での課題

事業のねらい

(1) 小学校の給食時間での朗読放送や通学合宿・公民館でのよみきかせ及び関連図書の設置を実施することで読書習慣の形成を試み、効果の測定を行う。

(2) 学童保育所や登校に不安を抱えるこどもに対して本を介したコミュニケーションを取り、小学校低学年及び中学年における読書習慣の形成を試み、効果の測定を行う。

(3) 上記の取組に対し県が設置する企画運営委員会内で助言等や県立図書館から図書貸出の支援を行うことで、人材や、蔵書量に課題を抱える自治体での取組の参考になるよう検討を行う。

実施内容

① ボランティアによるよみきかせの取組

(かつらぎ町へ再委託)



【取組内容】

かつらぎ町内の小学校
(5校 713名)

【取組内容】

小学校の給食時間での、朗読録音CD、ライブ朗読の放送や通学合宿、公民館でのよみきかせにより、こどもたちの読書への興味を誘った。同時に朗読図書を含む関連図書を学校へ貸し出し、読書につなげた。

② 学童保育所や登校に不安を抱えるこどもへの取組

(那智勝浦町へ再委託)

【対象】

那智勝浦町内の学童保育所5か所
(小学校1～4年生約50名)
登校に不安を抱えるこども
で青少年センターの学習指導に通
う児童・生徒10名を訪問



【取組内容】

個々の興味関心を聞き取り、書籍・電子書籍の紹介を行うことでコミュニケーションを図り、読書を促した。

③ 取組への助言や図書貸出の支援

(和歌山県が実施)

上記、2町での再委託事業に対する助言を行った。不足する図書についても県立図書館から貸出を行った。

成果・課題

【成果】

(ボランティアによるよみきかせの取組)
朗読放送の実施後に関連図書を手に取る児童が多く見られたことから、読書のきっかけづくりとして一定の効果は確認できた。

(学童保育所での取組)

こどもが飽きないよう月に1回の訪問時に図書を入れ替えた。低学年のこどもも楽しめるよう選書を工夫し、よみきかせも併せて行うことで読書への興味を持たせた。

(登校に不安を抱えるこどもへの取組)

こどもだけでなく保護者も一緒に楽しめる図書を選書することで、図書がこどもと大人(保護者や支援員)のコミュニケーションの架け橋となった。

【課題】

(ボランティアによるよみきかせの取組)

図書館利用者の増加や読書冊数の増加等といった数字での効果は現れにくい、読書への興味の定着化を図るためにこどもが集まる場を新たに開拓し、継続してよみきかせの取組を行うことが必要である。

(学童保育所での取組)

学童保育所内では一定の効果があったが、家庭での読書習慣定着には至っていないので、その部分を補う新たな取組が必要である。